

廃菌床で育てたカブトムシを幼稚園に無償提供

-SDGsに取り組む地元根差した取り組み-

岩瀬コスファ株式会社(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：岩瀬由典)が佐賀県唐津市に拠点をおく唐津ウェルネスファームでは、2021年10月からアラゲキクラゲの栽培を行っています。使用後の「廃菌床」を有効活用するために、「廃菌床」でカブトムシを育て、このカブトムシを近隣の幼稚園に無償で提供することを決定しました。

カブトムシは、5月頃から蛹化、6月下旬頃から羽化するため、その様子を観察できるように専用の観察ケースに入れて提供します。唐津ウェルネスファームは、就労継続支援A型・B型すばるとの農福連携でキノコ栽培を行っており、菌床栽培で必ず発生する「廃菌床」の再利用を目的としています。廃菌床にはおがくずが含まれており、発酵させることで堆肥として活用が出来ます。また、牛舎の敷材やカブトムシの飼育土として再利用が可能です。

唐津ウェルネスファームがカブトムシを育て、提供する目的は、下記3点です。

- ① SDGsの意識を持つ
- ② 生き物とのふれあいの機会を提供する
- ③ 地域とのつながりを深める

岩瀬コスファ株式会社は、化粧品・機能性素材の原料事業に加えて、SDGsについて取り組むことを強く意識しており、唐津ウェルネスファームでの活動もその一環としています。唐津ウェルネスファームは、本業と同じくSDGsに取り組んでいることを知っていただき、地域との連携を強化し、地域社会に貢献していきます。



【本件に関するお問い合わせ先】

岩瀬コスファ株式会社
広報・秘書室 芹澤・後
TEL：03-6841-3456